

経営比較分析表（令和5年度決算）

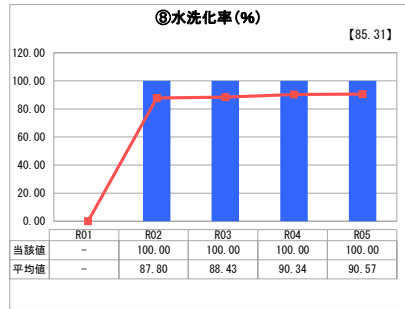
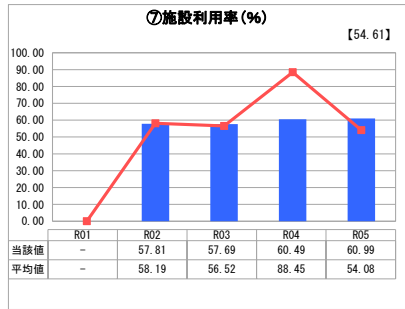
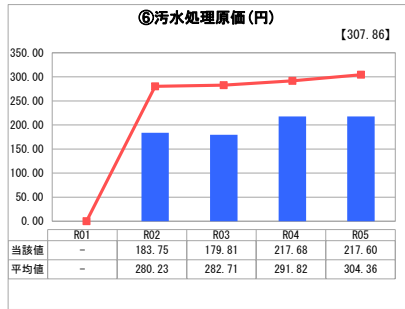
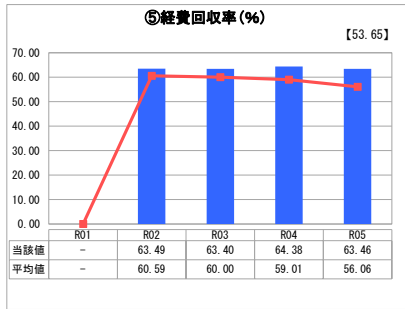
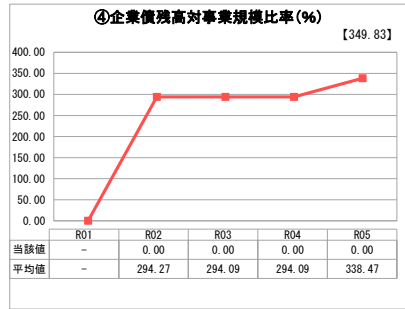
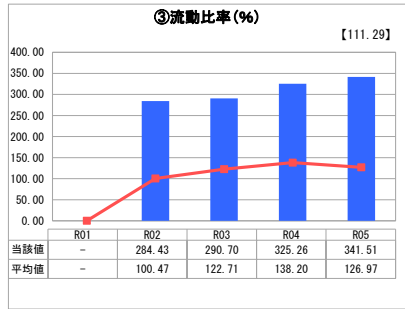
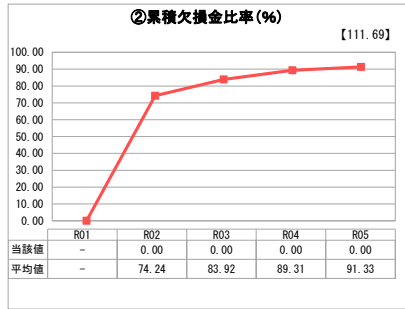
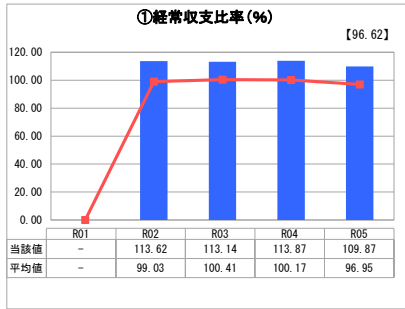
佐賀県 神埼市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	56.11	23.51	100.00	3,300

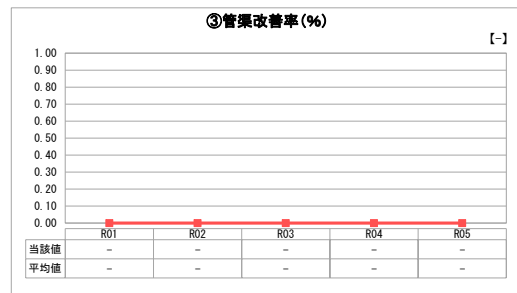
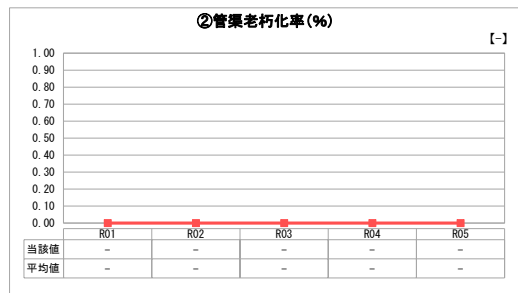
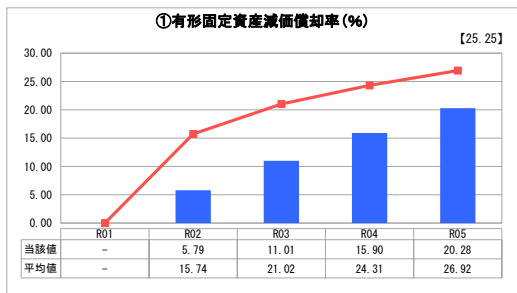
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,438	125.13	243.25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,132	6.50	1,097.23

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率については、100%を上回り黒字となっているが、使用料収入だけでは賅えず、他会計補助金により賅っている状況である。累積欠損はない。

流動比率については、企業債が比較的少ないことから100%を大きく上回っている。

企業債残高対事業規模比率は他会計補助金を企業債現在高に充当していることから算出なし。

経費回収率については類似団体と同等であるが、100%を下回っており、さらなる経費削減や使用料の改定も検討すべきであるが、公共下水道使用料との兼ね合いもあり、慎重に検討する必要がある。

汚水処理原価については浄化槽設置基数増加により有収水量が増加しているため、類似団体平均、平均値と比較して低い水準となっている。ただ今後は経年劣化による維持管理費の増加に伴い、高くなることを見込まれるため、維持管理コストの削減に努める必要がある。

施設利用率については、全国平均と同等である。

水洗化率については100%であり、今後も維持していく。

2. 老朽化の状況について

耐用年数を迎えた浄化槽がないことから、類似団体等と比較して低い状況となっている。

全体総括

浄化槽事業においては、使用料収入で維持管理費を賅っておらず、他会計補助金により賅っている。今後もこの傾向は続いていくと見込まれることから維持管理費の抑制が必要となるが、資材高騰等で修繕費が年々高くなっている状況である。企業債償還金も増加してきており、経営的には厳しくなっていく見込みである。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。